

平成 27 年度市民事業交流会 活動結果報告

平成 27 年 7 月 4 日に開催した「市民事業交流会」の内容は次のとおりでした。

名 称	市民事業交流会（ファンドレイジング講座）
委員出席者	増田 清美、服部 俊明（市民事業専門委員会）、坂井マスミ
開催日時	平成 27 年 7 月 4 日（土） 10:00～16:45
開催場所	TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワー 25 階 大会議室 2501
講 師	特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会 理事 徳永 洋子氏
出席者	もり・みず市民事業支援補助金補助事業者 17 団体（27 人）
内 容	<p>1 開会あいさつ 増田委員長</p> <p>日ごろ、水源環境保全・再生にむけた素晴らしい取り組みを行っている団体の皆様の交流を図っていただくことを目的として、市民事業交流会を開催している。</p> <p>今年度は、昨年と一昨年のワールドカフェにおいて、活動資金の確保が課題であるとの声が聞かれたことや、今年度採択となった 28 団体のおよそ半数は来年の 28 年度をもって補助期間終了を迎えることから、皆さまの活動が補助期間終了後も規模を縮小せず、継続・発展していただけるよう、ファンドレイジング講座を開催する。</p> <p>ぜひ本日は、少しでも多くのことを身につけていただくとともに、団体同士の交流を深めていただきたいと思います。</p> <p>2 講 義</p> <p>(1) ファンドレイジングの基礎</p> <p>ファンドレイジングとは何か（体系と意義）</p> <p>戦略的ファンドレイジング 3 つのポイント</p> <p>寄付集め 3 つのポイント</p> <p>共感メッセージの抽出</p> <p>5 つの成功事例から学ぶ</p> <p>ネットワークを生かそう！</p> <p>(2) 助成金活用の 8 つのポイント</p> <p>4 閉会あいさつ 増田委員長</p> <p>本日出席いただいた皆さまにおかれましては、ぜひ、身につけた知識を共に活動する仲間と共有していただき、皆さんの水源環境保全・再生にむけた素晴らしい取り組みを継続、発展させていただきたい。</p>

主な感想（参加者のアンケートより）

県税に加え、独自の自立体制を持てる団体になってほしいのだと感じ、今回の講座を開いて頂き感謝しています。ただ資金と同時にボランティアに参加して頂く人づくり・人さがしが重要と感じています。県も税の使う中にボランティアの養成を大切に感じてほしいと思います。行政の役割として、ボランティアを支援がしやすい努力をしてください

自分達（団体）が一体どこに居るのか、日常的に判らないまま活動を行って来たが、今回の講座参加により、具体的な位置とこれからの方向性を持つていく方法を理解することができたように感じました。自分達が自分達自身で考え、力と技術を身に付けていく必要がある。助成金と同等に得るものがあった。

個人としては、初めての出席であったので、大変参考になった。
環境・水以外の広い範囲での例も聞きたかった。
助成金＝投資という考え方に気づけなかったもので、納得した。

参考(当日の様子)

